

熱中症は中高生に多く発生しています！

平成28年度大阪市救急搬送患者数

年齢階級	性別	人数	率(人口10万対)
0~6歳	女	2	2.9
	男	3	4.1
	計	5	3.5
7~18歳	女	42	35.1
	男	99	79.4
	計	141	57.7
19~39歳	女	69	18.7
	男	116	32.3
	計	185	25.4
40~64歳	女	66	15.1
	男	201	45.3
	計	267	30.3
65歳以上	女	225	59.9
	男	299	103.8
	計	524	79.0

さらに、「7~18歳男」を詳しく見ると

「65歳以上男」の次に高い

年齢	人数	人口	率(人口10万対)
7	3	9,959	30.1
8	2	9,576	20.9
9	5	9,538	52.4
10	5	9,815	50.9
11	5	9,870	50.7
12	9	10,547	85.3
13	17	10,686	159.1
14	18	10,503	171.4
15	16	10,761	148.7
16	8	11,004	72.7
17	5	10,977	45.5
18	6	11,488	52.2
総計	99	124,724	79.4

男子中学生の発生率は「65歳以上男」より高い。

→ でも大丈夫。適切な予防で熱中症を防ぐことができます！

熱中症予防のポイント



温度に気をくばろう

- 涼しい素材(通気性のよい、吸汗・速乾素材)の服を着せるようにしましょう。



こまめな水分補給を

- 水分補給は熱中症予防の基本中の基本。水筒やペットボトルを持ち歩かせましょう。
- 水分と一緒に適度な塩分補給(0.1~0.2%程度の食塩水やスポーツドリンクなど)も大切。



休息をとろう

- 顔が赤く、ひどく汗をかいている場合は、涼しい場所で十分な休息をとらせましょう。



栄養もしっかり

- 朝ごはんは1日の基本。規則正しい食生活も熱中症を防ぎます。



大阪市HP

熱中症予防声かけ
プロジェクトHP



ひと涼み

検索

熱中症の応急処置など詳しい情報はホームページにアクセス ➡